



第74回 卒業証書授与式

3月7日（土）第74回卒業証書授与式を挙行しました。能野副市長様を始め、4名の来賓の方々にも出席していただき、盛大に卒業生の旅立ちを祝うことができました。担任の先生からの中学校生活最後の呼名に対する返事は、3年間の成長やこれから始まる新しい未来への期待感が感じられる立派なものでした。



式は厳かな雰囲気にも包まれながら進み、最後に卒業生が胸を張って体育館を退場していく姿は、中学校生活が終了したことへの満足感に満ちあふれていました。

以下、在校生代表清水くんの送辞と卒業生代表松永さんの答辞の一部を抜粋して紹介します。

【送辞】

私たちが追いかけてきた目標である先輩方が卒業されることは、とても心細く、さみしい気持ちでいっぱいです。これからは、在校生一丸となって、皆様が築いてこられた華西中学校の素晴らしい伝統を大切に、さらに発展させていきます。～～～《中略》～～～

これから活躍される場所でも、華西中学校で三年間学んでこられた知識や経験を活かし、また、本校の教訓である「自立」「友愛」「奉仕」の精神を忘れることなく、自分の夢に向かって力強く歩んでください。在校生一同、心より応援しています。

【答辞】



在校生の皆さん。皆さんと過ごした日々も、私たちにとって、かけがえのない思い出となっています。

一年後に卒業する二年生の皆さん。卒業をまだ先のことだと感じている一年生の皆さん。三年間はあっという間です。きっと皆さんも卒業する頃には、そう実感するはずですよ。仲間と共に、一日一日を大切に歩み続けてください。大きな壁にぶつかっても、立ち止まらずに努力し続ければ、必ず明るい未来が待っています。《中略》

多くの記憶が詰まった日々は、私たちだけの宝物です。困難から逃げずに、戦い抜いてきた私たちなら、この先どのような壁に突き当たっても、きっと乗り越えられるはずです。これ以上ない三十八人の素敵な仲間に出会えたことを心から誇りに思います。三年間本当にありがとう。

1年生 箏の授業(音楽)

3月16日(月)5・6校時に1年生が音楽の授業で、もえぎ会の梅本みゆき先生ほか6名の講師の方々をお招きし、和楽器(箏の演奏)の授業を行いました。

箏を触ることさえ初めての生徒がほとんどで、最初は戸惑いながら授業を進めていましたが、講師の先生の指導に熱心に耳を傾け、少しずつ慣れたようで、きれいな音色を響かせる生徒もたくさん見られました。

最後は、全員で「さくら さくら」を演奏しました。日本伝統の楽器である箏の演奏を経験できた貴重な時間になりました。

【生徒の感想 一部抜粋】

○琴特有の音色がとてもきれいで、上品さを感じました。少し昔に戻っているような感覚もし、不思議な気持ちになりました。

○最初は、箏の弾き方だったり箏のルールが分からず不安だったのですがもえぎ会の皆さんが教えてくださったおかげで、いろいろと分かるようになりました。今回の授業で、箏のことをもっと知りたいと思いました。

○弦を弾くだけでもこんなに楽しいとは思いませんでした。弦を弾くたびに素敵な音が出て、弦を弾くのが楽しく思えました。



2年生 救急救命講習(保体)



3月17日(火)5・6校時に、防府市消防署西部出張所より3名の消防士さんをお招きし、2年生の保健体育の授業で救急救命法を行いました。最初に、防府市の救急車の緊急出動の現状や「救急の連鎖」のお話があり、次に、3つのグループに分かれて心肺蘇生法やAEDの使い方のポイントを聞き実践しました。

胸骨圧迫はほとんどの生徒が経験済みでしたが、細かい注意点を指導してもらうことで、さらにスムーズにできるようになりました。中学生は、自分の安全を確保した上で、周囲の人や社会の安全に貢献できる力を身につけなければなりません。「勇気をもって行動すること。」「中学生でもできることを臨機応変に行うこと。」という大切なお話を聞くこともできました。

【生徒の感想 一部抜粋】

○救急車が来るまで全国平均で約9分かかるらしいので、その間に自分や現場にいる人が何ができるかを知ることができた。

○実際に立ち会ったときに、今日みたいに対処できるかと言われると不安だけど、今日のことを思い出して行動が起こるといいなと思いました。

○落ち着いて対処をしてやるのが、一番良いことが分かりました。